



はとやま 雑感

町長 小峰孝雄

【今月のテーマ】地域連携ワークショップ

宇宙航空研究開発機構（JAXA）から地球観測センターの運営の委託を受けている一般財団法人リモート・センシング技術センター（RESTEC）の呼びかけにより、地域や大学、民間企業が連携し、地域社会が抱える課題に対し、宇宙からの情報活用の実現性を探る「地域連携ワークショップ」が取り組まれています。



昨年10月に第1回が開催され、第2回が4月4日に行われました。参加団体は、鳩山町以外にJAXA、東京電機大学、日立製作所中央研究所、RESTECなどです。

ワークショップは講演会とパネルディスカッションの2部形式で行われています。2回目のワークショップの講演会では、京都大学の中野不二男教授から、衛星画像を活用して地下に眠る遺跡位置を特定する可能性について、課題提起がなされました。

この方策が可能なら、鳩山町にある千とも二千ともいわれる南比企業跡群の跡跡の位置の特定に役立つ可能性もあります。



続いてのパネルディスカッションでは、衛星画像による遺跡調査だけでなく、東京電機大学による衛星打ち上げプロジェクトへも話題が集まりました。

第1回のワークショップで、パネリストの1人である株式会社アーベルソフトの佐藤会長からの提案を受け、東京電機大学で衛星プロジェクトの検討が開始されています。

JAXAの衛星打ち上げ時に、主衛星だけでなく、いくつかの子衛星も一緒に打ち上げられています。東京電機大学の衛星プロジェクトが、JAXAの眼鏡に合うものになるかどうかポイントになります。



パネリストの1人として参加していますが、毎回興味深い話題が続いています。今後の展開が楽しみになってきました。



スケジュール(全10回)

期 日	教室の内容 (予定) ※変更する場合あり
① 6月6日(金)	開講式、オープニングセミナー「まずは自分の体力を知ろう！体力測定①」
② 6月13日(金)	「効果的なコミュニケーション」、茶話会
③ 6月27日(金)	「体をつくり、動くための“食”を学ぼう」
④ 7月25日(金)	「腰痛・膝痛予防のための体操 part I」 「血管をしなやかに！体の調子を整える“食”」
⑤ 8月19日(火)	公開講座「健康長寿の3本柱」
⑥ 8月26日(火)	「腰痛・膝痛予防のための体操 part II」 「“質”“量”を考えた賢い食事」
⑦ 9月16日(火)	「趣味・楽しみを広げる食事」(簡単な調理・会食会含む)
⑧ 9月26日(金)	「健“口”が健康長寿への道」
⑨ 10月10日(金)	「どのくらい若返りましたか。体力測定②」、「地域の活動を知ろう～教室後の生活を考える～」
⑩ 10月24日(金)	「次のステップを語ろう」 茶話会、閉講式など

※この教室は「鳩山町健康づくりサポーターの会」との協働事業として、また、東京都健康長寿医療センター研究所との共同研究事業の一環として開催します。

検査方法にはどのようなものがあるのでしょうか

検査方法には、①ピロリ菌が尿素をアンモニアに変えるときに二酸化炭素が発生する性質を利用して、尿素の入ったカプセルを服用する前と、服用後10～20分に吐く息を採取してそこに含まれる二酸化炭素の量を調べる「呼吸検査」、②血液を採取して、そこにピロリ菌に対抗する抗体が含まれているかどうかを調

異常がみつかったら

除菌治療を行ってください。3種類の薬を服用することで、90%以上が除菌できるとされています。(除菌は助成対象外)

問合せ：町保健センター
☎2996-2530

平成26年度 さわやか健康教室 参加者募集



「いつまでも健康でいきいき、と過ごすためのヒケツを楽しく学びませんか。しっかりとした体づくり、体力チェック、元気で長生きのための食生活のことなど、みんなで楽しみながら健康長寿を目指しましょう。」

対象 町内在住の60歳以上の
会場 町保健センター
期 日 11月の土曜日(全10回)
時 間 午前10時～11時50分
※受付は午前9時20分
※受付後、毎回、血圧測定(健康相談含む)を行います。プログラムにより時間を延長する場合があります。
定員 30人(新規申込者を優先します)
費用 無料 ※ただし、茶話会(②・⑩)は1000円、調理実習(⑦)は3000円の自己負担があります。
申込み 5月30日(金)までに町保健センターまたは役場東出張所にある参加申込書に必要事項を記入し、前記のいずれかに提出してください。参加者決定後、詳しいご案内などをお送りします。
その他 ●基本体操を毎回30分程度行いますので、運動できる服装、上履き(スリッパ不可)でお越しください。
●6回以上出席された方には、修了証書をお渡しします。
問合せ 町保健センター
☎2996-2530



さわやかで
つくろって
元氣のもと
伸ばそう

ピロリ菌の有無を調べる
「胃がんリスク検査」
費用を助成します



ピロリ菌(ヘリコバクター・ピロリ)は、胃の強い酸の中でも生きることが出来る菌です。らせん状の形をしていて、胃の粘膜にすみついていきます。胃の中に入ってきた細菌は通常、胃酸によって殺菌されますが、ピロリ菌は持っている酵素によって、胃の中にある尿素をアンモニアに変え、アルカリ性のアンモニアで胃酸を中和して、胃酸の殺菌作用を逃れています。胃潰瘍や十二指腸潰瘍の90%以上でピロリ菌が陽性を

ピロリ菌検査で何がわかるのですか

胃・十二指腸潰瘍を繰り返して再発する人に、その原因としてピロリ菌が関与しているかどうかを調べます。陽性と出ればピロリ菌の関与が濃厚になり、胃がん発生へのり

占めているとされ、近年になって胃がん発症にも大きく関係していることが分かってきました。

そこで町では、胃がん予防の一環として、検査費用の一部を助成します。

対象 鳩山町に住民登録がある、30歳以上の方で、平成26年4月1日以降に胃がんリスク検査を受けた方

助成額 2000円(検査後に助成)

助成回数 1人1回限り

助成方法 検査費用の全額を医療機関にお支払い後、次のものを持参し、町保健センターに申請してください。

①鳩山町胃がんリスク検査費用助成金交付申請書兼請求書(町保健センターに置いてあります。)
②医療機関が発行する領収書または検査を証する書類
③振込先の口座が確認できるもの
④印鑑